

# 令和3年度 地域課題解決マッチング事業

## 解決アイデア企画書

(アイデア名)      フードドライブ入出庫管理アプリ

(応募者名)      川端 陽子

# 1 選択した地域課題（お困りごと）

## 【フードドライブの入在庫管理を簡略化したい!】

当会では、金沢市環境政策課の委託を受けて金沢市内の保健所、福祉健康センターでの定期受付窓口開設の他、公民館、婦人会、地区社会福祉協議会等でフードドライブを実施していただいています。

市民のみなさんの関心は高く取り組む地区が増えていますが、入在庫管理のため手作業でラベル番号を貼り受付票に商品名、メーカー名、賞味期限、重量などを記入してもらっています。

また、社会福祉協議会、こども食堂、母子寡婦福祉協議会などの福祉団体が食品を持ち帰る際も番号、商品名、個数などを書いてもらう作業をお願いしています。ボランティアの皆さんの手間を簡略化できる効率的な入在庫管理アプリが開発できたらと考えています。

。



**入在庫管理を効率化することで、より多くの方が食品を持ち込みやすくなり、たくさんの方々に食品が行き渡るのではないかと？**

## 2 現状の事務の流れ

### (1) 食品の受け入れ

- ・ 金沢市環境政策課、市内保健所、福祉健康センター等で受け入れ
- ・ ボランティアが手作業でラベル番号を貼り付け、受付票へ商品名、メーカー名、賞味期限、重量などを記入

### (2) 受け入れた食品を集積

- ・ 各地で受け入れた食品を一カ所に集める

### (3) 食品の配布

- ・ 社会福祉協議会、こども食堂、母子寡婦福祉協議会などの福祉団体が食品を持ち帰る
- ・ 持ち帰る際、商品名、個数などを記入

### 3 現状の問題点と解決の方向性

#### (1) ボランティアの負荷が高い

- ・ ボランティアが手作業でラベル番号を貼り付け、受付票へ商品名、メーカー名、賞味期限、重量などを記入している。
- ・ 福祉団体が食品を持ち帰る際も。商品名や個数などを手作業で記入している



- ・ 入力作業を電子化して省力化する
- ・ 食品を持ち込む市民も入力可能な仕組みとする

#### (2) 各受入所ごとに受付票を作成している

- ・ 受入所が市内に複数あることから、各受入所で受付票を作成する必要がある




- ・ 受付票をシステム化し、各受入所での受付結果をサーバー内に集約する

# 4 解決アイデア

## フードドライブ管理システム

**【受入ウェブページ】**


商品名  
メーカー名  
賞味期限  
重量



ラベル番号	商品名	メーカー名	賞味期限	重量
0001	お米	〇〇	R4.10.1	10kg
0002	レトルトカレー	△△	R3.12.1	200g
0003	チョコレート	××	R6.2.1	50g
0004	ラーメン	□□	R5.5.1	150g

**①**  
食品を持ち込む方が  
事前に食品の概要を  
専用ウェブページに  
入力  
→ラベル番号を  
自動採番

**②**  
食品受入時にボラン  
ティアが内容を確認し、  
問題なければ承認  
→管理システムに反映  
される



**③**  
食品配布時にボラ  
ンティアが配布食品  
のラベル番号を指  
定  
→管理システムに  
配布を記録

